

西洋古版本印刷地の見分け方ガイド（1）

武者小路 信和

（大東文化大学文学部）

現在の本の場合、標題紙（裏を含む）に記載された出版地、出版者、出版年などの出版事項を基本的に信頼し、それを拠り所にして目録をとりますが、西洋古版本の場合、標題紙に記載された事項が必ずしも信頼できるとは限りません。匿名書、海賊版、秘密出版物など、政治的、宗教的、私的な理由等から、たとえば、実際にはアムステルダムで印刷・出版された本であるにも関わらず、出版地がロンドンやパリと記載されている本のように、正しい事項を匿した本や偽りの事項を記した本が数多くあります。

こうした正しい出版地を匿した本の実際の出版地・印刷地を知ることとは、その本文の信頼性にも関わり、書誌学や出版史にとって重要な意味を持っています。

では、どのようにして出版地・印刷地を見分ければよいのでしょうか？

書誌学の専門的な研究のなかでは、使用されている活字やオーナメントなどから印刷所を特定したり、著者や出版者の書簡や印刷所の記録といった歴史資料などを用いて特定することが行なわれています。しかし、これを行なうためには専門的な知識と経験が必要ですし、1冊の本について調べるためだけにでも多くの時間がかかります。

ありがたいことに、書誌学についての知識がなくても、それを調べる方法があります。

その一つが参考図書・書誌類¹⁾の利用です。ただし、その本が載っているとは限らないことと、載っていたとしても書誌事項の記述が簡略なため、手元にある実際の本と書誌の記述対象となっている本との同定が難しいという欠点があります。

使われている活字や紙がどの国のものであるか判明した場合に、それが手がかりになるでしょうか？残念ながら、活字や紙は国際的に取り引きされていたために、特定の国の活字や紙を使用しているからといってその国で出版されたとは断定できず、印刷地を見分ける手がかりにはなりません。

印刷地に関しては、誰でも比較的容易に見分ける方法として、国・地域によって微妙に異なっている植字・組版上の慣行に注目した方法があります。今回は、そのなかでも代表的な Richard Anthony Sayce による方法²⁾を紹介し、次号ではその他の人々による方法を紹介する予定です。

フランス文学研究者・書誌学者であった Sayce は、1530-1800 年の期間にフランス、ベルギー、スイス、イタリア、オランダ、ドイツ・オーストリア、イギリス・アイルランド、スペイン・ポルトガル、デンマーク・スペインで出版された 2800 冊以上の本の植字・組版上の特徴を詳細に調査し、それぞれの国・地域に特徴的な植字・組版上の慣行を明らかにしました。Sayce は、1530-1800 年と期間を限定した理由として、揺籃期本（インキュナブラ）および 16 世紀初期の刊本は独特のものであり、研究の蓄積があること、そして 19 世紀以降は印刷技術の大きな変化があり、別の問題が生じてくることを挙げています。また Sayce 自らこの研究の問題点として、①確固とした結論を導き出すにはサンプル数が少ないこと、②サンプルのなかに偽りの事項を記した本が紛れ込むことによって結果を歪める可能性があること、③海賊版を印刷する業者がオリジナルにそっくり似せた特徴をもつ本を生み出す可能性があること、④出版地と印刷地が必ずしも同じであるとは限らないこと、そして別の結論部分において⑤各国・地域においてその特徴が認められる時期的な限定に関して、今後の調査によって改訂されていく可能性が高いことを指摘し、②については、疑わしい本はサンプルに入れなかったことで、③と④はそのような本が存在しても例外的なものであることから、基本的な結果に影響を与えないものではないとしています。

本稿では、実際に古版本を手にして、点検しながら利用できる簡便

なガイドとして役立つことを目的にしたために、Sayce の論文の主要部分だけを表形式に整理して提示しています。より詳しい内容・データを知りたい方は、ぜひ Sayce の論文を参照してください。

先ず表の読み方について説明しておきましょう。

第1表～第7表は、判断する際の植字・組版上の特徴、つまりチェックポイントに対応しています。

- ・ 出版年にどんな表記の仕方が使用されているか？（第1表）
- ・ 前付部分では、どんな折記号が使用されているか？（第2a・2b表）
- ・ 本文部分の折記号では、どんなアルファベットが使用されているか？（第3表）
- ・ 折記号に用いられている数字は、ローマ数字かアラビア数字か？（第4表）
- ・ 折記号が、折丁の何葉目まで印刷されているか？（第5表）
- ・ キッチワードがどのページに印刷されているか？（第6表）
- ・ どんなページ付けが使用されているか？（第7表）
- ・ プレス・フィギュア (press-figure) が印刷されているか？（第7表）

各表は、横軸（列）に植字・組版上の特徴を、縦軸（行）に国・地域をとっています。ただし、国・地域に関しては9つに大別し、さらにフランスについてはパリとリヨン、スイスについてはジュネーブとバーゼルに細分しているので、全部で11の国・地域となっています。

各セルのなかには、その特徴の出現頻度の目安を示す記号が入り、次のような6段階に分けて示しています。その際、必要に応じて時期的な限定が加えられています。なお空白のセルは、基本的にその特徴がその国・地域では判断の目安とならないことを示しています。

☆ 非常によく使用される

○ よく使用される

- △ ときどき使用される
- ▲ あまり使用されない
- ほとんど使用されない
- ★ まず使用されない

たとえば第1表の第1列は、「M.DC.LII」のようにローマ字表記の出版年で千と百の桁がドットで区切られていた場合、フランスのパリでは1512-1793年の間「非常によく使用された」こと、リヨン(1545-1780)、ベルギー、スイスのジュネーブ(1540-1780)とバーゼル(1521-1679)でも「よく使用された」こと、ドイツでは1700年以降「あまり使用されなかった」ことを表しています。

一つのチェックポイントの結果だけでは判断が付きませんが、複数のチェックポイントの結果をクロスさせることによって、特定の印刷地に絞られていきます³⁾。実際に身近にある本で試してみてください。あらゆる本について百パーセント確実に見分けることができるわけではありませんし、基本的に国・地域単位の識別で、都市単位で見分けられるわけではありませんが、簡単で・しかもかなりの有効性をもつ方法のように思われます。

以下の説明は、表を読むうえで必要となる植字・組版上の特徴について補足したものです。

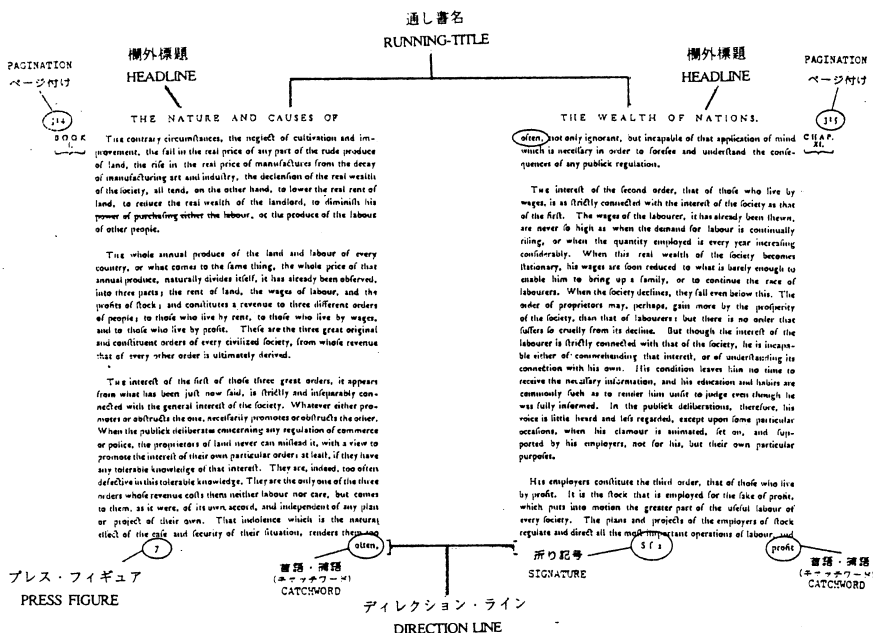
1 出版年（第1表参照）

まず最初に標題紙に記載された出版年に注目します。

現在の出版年の表記の仕方は、基本的にアラビア数字一辺倒ですが、西洋古版本の場合、アラビア数字、ローマ数字およびその変形などさまざまです。ローマ数字の場合でも、千の桁や百の桁をドット（ピリオド）で区切る（第1列）、カンマで区切る（第2列）、スペースで区切る（第3列）、区切りを入れない（第4列）、千を表すMを大文字で、残りを小ぶりの大文字(small capitals)で組む（第5列）、イタリック体で組む（第6列）があり、さらにローマ数字の変形（第7と8列）があります。第9列はアラビア数字が使用されている場合

を示しています。

次に標題紙をめくって文章の印刷されているページを見てくだ
さい。ここで注目するのは、折記号 (signature)、キャッチワード
(catchword)、ページ付け (pagination)、プレス・フィギュア (press-
figure) と呼ばれる版面・印刷面の構成要素です。(第1図参照)



第1図：版面・印刷面の構成要素の名称

2 折記号 (signature)

折記号は、製本時の丁合い（折丁を正しい順番に並べる）際に、折丁が正しい順番に並んでいるかどうかを確認するための手がかりで、表ページ (recto) のディレクション・ラインに印刷されています。

第2a表と第2b表は、前付部分でどんな折記号が使用されているか、を表わしています。標題紙を除く献辞、前書き、目次などの前付部分では一般に記号やアルファベットの小文字を使用しますが、国・地域によって使用する記号やアルファベットの小文字に特徴があります。

第3表は、本文部分の折記号でどんなアルファベットが使用されているか、を表しています。本文・後付部分では一般にアルファベットの大文字が使用され、アルファベットの J（あるいは I）、U（あるいは V）、W を除く 23 文字を使用し、A から Z まで一巡すると、Aa-Zz、Aaa-Zzz……と桁を増やしていきます。

第1列は本文部分で小文字のアルファベットが使用されている場合。第2列は本文部分のアルファベットが大文字の「A」ではなく「B」から始まっている場合です。これについては説明が必要です。初版のように手書き原稿を基に組版する場合、植字作業は本文部分から組み始め、後付を組み終えた後に、前付部分を組むことになります。その際例外的に、折記号の大文字の「A」を前付部分に使用するために取って置き、本文部分を大文字の「B」から与え始めることがあります。これはイギリス・アイルランドに特徴的なものです。第3列は、一般に折記号では「U」を用いずに「V」を使用しますが、例外的に「V」の代わりに「U」が用いられることがあり、それが17世紀後半以降のドイツとイギリス、とくにロンドンに特徴的であることを示しています。第4列は、折丁の数が多く、折記号のAからZまでが二巡、三巡、四巡した場合にどのような表記の仕方を行っているか、を表しています。第5列は、二巡目の「S」に「s」を用いているか、「ロング・エス」を使用しているか、二巡目の「V」に「v」を用いているか、「u」を使用しているか、「Uu」を使用しているか、を表しています。

第4表は、折記号に使用される数字の表記の仕方を表しています。

折記号には折丁の何葉目であるかを示す数字が記号やアルファベットに付加されていますが、第1列はその数字がローマ数字であるかアラビア数字であるか、を示しています。なお第2列では、フランスのバリの場合、ローマ数字の「4」を「iiii」と表記するか「iv」と表記するかで、時期的な違いがあることを示しています。

第5表では、折記号が折丁の何葉目まで印刷されているか、を表しています。第1列は四折本 (quarto)、第2列は八折本 (octavo)、第3列は十二折本 (duodecimo) の場合を示しています。なお第4列は同じ十二折本 (duodecimo) でも、8葉からなる折り丁と4葉からなる折り丁の組み合わせで構成されている十二折本で、フランスのバリで盛んに用いられたのに対し、ほかの国・地域では比較的珍しいため、バリ、少なくともフランス起源を示唆しています。

3 キャッチワード (catchword)

キャッチワード (首語、捕語ともいう) とは、版面のディレクション・ラインの右端に印刷された次のページの出だしの言葉を指します。

第6表では、キャッチワードがどのページに印刷されているか、を表しています。第1列は毎ページに印刷されている場合 (page-catchwords)、第2列は折記号が印刷されているページを除いて、キャッチワードが印刷されている場合、第3列はページではなく紙葉を単位に裏ページ (verso) にのみ印刷されている場合 (leaf-catchwords)、第4列は折り丁を単位に、折り丁の最後の裏ページだけに印刷されている場合 (quire-catchwords) を示しています。

4 ページ付け (pagination)

第7表では、どんなページ付けが使用されているか、を表しており、第1列はページ数が丸括弧あるいは角括弧で囲まれている場合、第2列はページ数がオーナメントで囲まれている場合、第3列は「Pag. I」という形を採っている場合を示しています。

5 プレス・フィギュア (press-figure)

プレス・フィギュアは、通常裏ページ（verso）の版面のディレクション・ラインに印刷された一見無意味な数字や記号、文字を指し、印刷機（者）番号⁴⁾とも呼ばれる。第7表の右端に表されているように、プレス・フィギュアは1680年代から18世紀にかけて、もっぱらイギリス、アイルランド、それに数は少ないがアメリカの本において見られるもので、プレス・フィギュアが印刷されていた場合、これらの国・地域の本と見てまず間違いないとされています。

（つづく）

【注】

- 1) 偽りの出版地・印刷地を対象とした専門の書誌として、次のようなものがある。

Brunet, Gustave. *Imprimeurs imaginaires et libraires supposés*.
NY: Burt Franklin, 1962.

Parenti, Marino. *Dizionario dei luoghi di stampa falsi* ...
Firenze: Sansoni, 1951.

Weller, Emil Ottokar. *Die fälschen und fingierten Druckorte* ...
Hildesheim: G. Olms, 1960-61.
- 2) Sayce, R.A. "Compositorial Practices and the Localization of Printed Books, 1530-1800." *Library*. 5th ser. 21(1): 1-45 (1966.3)

Sayce, R.A. *Compositorial Practices and the Localization of Printed Books, 1530-1800*. A Reprint with Addenda and Corrigenda. Oxford: Oxford Bibliographical Society, Bodleian Library, 1979. (Occasional Publication; 13)
- 3) Sayce の論文を基に、エキスパート・システムと呼ばれるコンピュータ・システムを利用して、複数のチェックポイントの結果をクロスさせて印刷地を鑑定するシステムが開発されたことがある。戸田慎一「エキスパート・システムによる出版地の鑑定」『図書館学会年報』32(1): 11-20 (1986.3)
- 4) プレス・フィギュアの役割については、高野彰『洋書の話』増補版（丸善 1995）p.134-38 参照。なお同書にもあるように、ヨーロッパ大陸で出版された本にも、プレス・フィギュアが印刷されているものが極めて例外的に存在している。

第1表：出版年の表記 (Dates in Imprints)

		M.DC.LII	M.DC.LII	M DC LII	MDCLII	Macul, etc.	ITALICS M.DC.LII	CDXCLII	c(b)CLII	ARABIC FIGURES 1612
FRANCE	PARIS	☆ (1512-1793)		●	▲			●	●	○ (16th cent.) ★ (1600-1780)
	LYONS	○ (1545-1700)		●	●		○ (1554-1676)	●	●	○ (1532-1625) ● (1600-1780)
BELGIUM		○								
SWITZERLAND	GENEVA	○ (1540-1780)					☆ (1551-1780)			
	BASLE	○ (1521-1679)								
ITALY				▲	☆			☆ (1582-1775)		
HOLLAND					☆		● (before 1700) ☆ (18th cent.)	▲	☆ (1574-1768) (esp. Leiden)	○ (1575-1776)
GERMANY		▲ (after 1700)			☆ (esp. the late 18th cent.)		○ Frankfurt (1543-1681)	○ (1566-1798)	○ (1595-1797)	
GREAT BRITAIN and IRELAND			☆ London (1727-99)			☆ London (1727-74)				○ (1554-1799)
SPAIN and PORTUGAL										○ (1555-1779)
SCANDINAVIA										

第2a表：前付の折記号 (Preliminary Signature)

		THE ASTERISK *	THE OBLUS †	THE PARAGRAPH § § §	THE SECTION § §	THE GREEK or + ✕ MALTESE CROSS
FRANCE	PARIS	●	△ (1566-77) ★ (after 1660)	●		
	LYONS	○ (1553-1653)	★ (after 1660)	●		
BELGIUM		○ Antwerp (1534-1668)		★		
SWITZERLAND	GENEVA	○ (1540-1672)		☆ (1560-1680)		
	BASLE	●		★		
ITALY		●	☆ (the late 16th and 17th cent.)	★	○	☆ esp. Rome (1600-72)
HOLLAND		☆ (1575-1799)	○ (from the middle of the 17th cent.)	★ (at least after 1620)	★	
GERMANY		▲		○ Frankfurt (1593-1699)		
GREAT BRITAIN and IRELAND		●		△ (the 16th and early 17th cent.)		
SPAIN and PORTUGAL		●		☆ (1591-1776)	○	
SCANDINAVIA		▲				

第2b表：前付の折記号 (Preliminary Signature)

		INVERTED PARENTHESES) () () (	PARENTHESES ENCLOSING OTHER SYMBOLS (:) (*) (a)	LOWER-CASE LETTERS a b c	VOWELS a e i o u	GREEK LETTERS α β γ
FRANCE	PARIS		★	● (until about 1710) ○ (after 1710)	☆ (the second half of the 16th cent.-1730) ▲ (after 1730)	
	LYONS		★		△ (before 1650) ○ (after 1650)	
BELGIUM			★	●		
SWITZERLAND	GENEVA			★	●	
	BASLE	○	(:) ○	★	●	☆ (1533-72)
ITALY			★	○ (1556-1796)	●	
HOLLAND			(a) ○	● (esp. the 17th cent.) ○ (Amsterdam:1631-1781)	△ (the late 17th and early 18th cent.)	
GERMANY		☆ (1556-1786)	(:) ☆ (a) ○	△ (the 17th cent.) ○ (the 18th cent.)	△ (1575-1640)	
GREAT BRITAIN and IRELAND			(a) ☆ London (1650-1756) (a) ○ London (1662-1762)			
SPAIN and PORTUGAL				●		
SCANDINAVIA		○		●		

第3表：本文の折記号に用いられるアルファベット (Signature Alphabets)

		LOWER-CASE ALPHABETS a b c	a as FIRST TEXT SIGNATURE	U and V	SECOND and LATER ALPHABETS	Sf and Se; Vu and Vv
FRANCE	PARIS	△ (1512-1646)			AAe (or ○ (1552-1719) AAaa	Sf ☆ (1552-1774) Vu ☆ (1552-1774)
	LYONS	△ (1532-95)			AAe (or △ (1556-1609) AAaa	
BELGIUM						Sf ○ Antwerp (1537-1628)
SWITZERLAND	GENEVA	☆ (1540-1665)				Sf ○
	BASLE	☆ (1533-64)				
ITALY		○ (the 16th cent.)				Sf; Vu ○ (before 1700) Se; Vv ○ (after 1700)
HOLLAND		▲			AA ● (after the very early 17th cent.)	Vv ☆ Vu ★ (esp. the 16th cent.)
GERMANY				○ (after 1667)		Sf; Vu ○ (before 1700) Se; Vv ○ (after 1700)
GREAT BRITAIN and IRELAND			☆	☆ esp. London (after 1656)	3A (or 4A or 5A) ○ ☆ (the 18th cent.)	Sf ☆ (1574-1796) Se ★ Vu ○ (the late 17th and 18th cent.)
SPAIN & PORTUGAL						
SCANDINAVIA				△		

第4表：折記号に用いられる数字 (Signature Numeration)

		ROMAN and ARABIC		iii] and iv
FRANCE	PARIS	Roman ☆ (1531-1790) Arabic ☆ (ca. 1630-ca. 1780) Arabic ○ (from 1767) Arabic ☆ (from 1780)		iii] ○ (until 1761) iv ○ (after 1750)
	LYONS	Roman ☆ (1680-1780) Arabic ○ (before 1680)		
BELGIUM		Arabic ☆ (after the middle of the 16th cent.)		
SWITZERLAND	GENEVA	Roman ○ (1546-1780) Arabic △ (1540-1780)		
	BASLE	Arabic ☆ (1533-1679)		
ITALY		Roman ② (after about 1580) Arabic ☆ (after the second half of the 16th cent.)		
HOLLAND		Arabic ○ (1586-1799)		
GERMANY		Arabic ○ (1530-1798)		
GREAT BRITAIN and IRELAND		Roman ○ (the 16th cent.) Arabic ☆ (after 1600)		
SPAIN & PORTUGAL		Arabic ○		
SCANDINAVIA		Arabic ○		

第5表：折記号が何葉目まで印刷されているか (Number of Leaves Signed)

		QUARTO (4")	OCTAVO (8")	DUODECIMO (12") (12")	DUODECIMO (8+4) (12")
FRANCE	PARIS	1-3 (1551-1770) 1-2 (1766-99) ★ 1-2 (before 1760)	1-4 (1512-1798) ★ 1-5	1-6 (1584-1799)	1-4+1-3 (until about 1680) 1-4+1-2 (after 1680)
	LYONS	1-3 (1552-1703)	1-5 (1532-1653) 1-4 (1574-1771) ★ 1-5 (after 1700)	1-6 (1605-1780)	
BELGIUM		Antwerp 1-3 (1566-1665)	Antwerp 1-5 (1528-1788)	Antwerp 1-6 (1591, 1631)	
SWITZERLAND	GENEVA	1-3 (1580-1718)	1-4 (1551-1782) 1-5 (1540-1630)	1-6 (1609-1769)	
	BASLE	1-3 (1533-1679)	1-5 (1534-1641)		
ITALY		1-2 (1523-1795) ★ 1-3	1-4 (1504-1796) ★ 1-5	1-6 (1552-1772)	
HOLLAND		1-3 (1594-1768) ★ 1-2	1-5 (1586-1799) ★ 1-4	1-7 (1640-1796) 1-6 (1617-1775)	
GERMANY		1-3 (1570-1769) ★ 1-2	1-5 (1530-1797) ★ 1-4 (1610-1750)	1-7 (1613-1755) 1-6 (1718, 1775)	
GREAT BRITAIN and IRELAND		1-3 (London: 1544-1665) 1-2 (London: 1656-1798) ★ 1-3 (after 1700)	1-4 (London: 1560-1799) 1-5 (London: 1534-1607) ★ 1-5 (after 1610)	1-6 (London: 1724-78) 1-5 (London: 1581-1766) ○ 1-5 (the 18th cent.)	
SPAIN and PORTUGAL		1-2 (1636-1796) ★ 1-3	1-4 (1543-1787) ★ 1-5 (after 1630)	1-6	
SCANDINAVIA		1-3 (1631-1786)	1-5 (1697)	1-6 (1649, 1652)	

第6表：キャッチワード (Catchwords)

		PAGE-CATCHWORDS	CATCHWORDS EXCEPT ON PAGES BEARING SIGNATURES	LEAF-CATCHWORDS	QUIRE-CATCHWORDS
FRANCE	PARIS	★			☆ (1551-1799)
	LYONS	○ (1532-1676) ★ (after 1680)	○ (1553-1650)		△ (1676-1780)
BELGIUM		○ (1525-1788)			
SWITZERLAND	GENEVA	▲		☆ (1546-1658)	▲ (before 1700) ○ (1758-82)
	BASLE	○ (1521-1679)	△ (1550-1645)	△ (1534-84)	▲ (before 1700) △ (1797)
ITALY		○ (1552-1796)			
HOLLAND		○ (1575-1799)			
GERMANY		○ (1530-1798)		△ (1549-1625)	☹ (before 1750) △ (after 1750)
GREAT BRITAIN and IRELAND		○ (1534-1799)			●
SPAIN and PORTUGAL		○ (1555-1796)			●
SCANDINAVIA		○ (1631-1786)			

第7表：ページ付け (Pagination)

プレス・フィギュア

		PAGE-NUMBERS ENCLOSED BY PARENTHESES OR BRACKETS (i), [i]	PAGE-NUMBERS ENCLOSED BY ORNAMENTS -oO (i) 20-	Page: I	PRESS-FIGURES (PRESS-NUMBERS)
FRANCE	PARIS	☉ (at least before 1790)			★
	LYONS	☉			★
BELGIUM					★
SWITZERLAND	GENEVA				★
	BASLE				★
ITALY					★
HOLLAND		(i) ○ (1695-1784)		☆ (1610-1776)	★
GERMANY			☆ (1659-1775)		★
GREAT BRITAIN and IRELAND		(i) ○ (Oxford: 1565-1666) (London: 1632-1799) [i] ☆ (1670-1750)			☆ (1600a-1800)
SPAIN and PORTUGAL		(i) ○ (1737-87)		○ (1596-1779)	★
SCANDINAVIA					★